



紡ぎ車と世界の原毛

アナンダ

山梨本社
TEL0551-32-4215 FAX 0551-32-4830
〒408-0033山梨県北杜市長坂町白井沢 2995
wool@ananda.jp <http://www.ananda.jp>

アナンダの レインボー染めセット

¥1,500

用意するもの

なべ



びん - 3本



染液かきまぜ棒 - 3本



染料3色



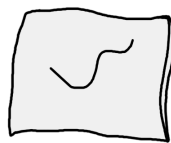
小さじ - 3本



食酢



手袋に使うポリ袋



食器洗い洗剤



羊毛

*羊毛の状態は、グリージーでもスカードでもスライバーでも糸でもなんでも染まります。色々試してみてください。

染液を作る

① 各びんに染料を小さじ一杯ずつ入れます。色が混じらないようにそれぞれ別のスプーンを使います。



② お酢を1/4カップずつ注ぎます。



③ 2カップずつのお湯を少しずつ注ぎながら染料を溶かします。



☆薄めるお湯の量で、染め上がりの濃い薄いが違ってきます。慣れてきたら好みに色々調節してみましょう。

染める

④ 羊毛をぬるま湯に浸します。食器洗い洗剤を数滴たらすとしみこみが良くなります。



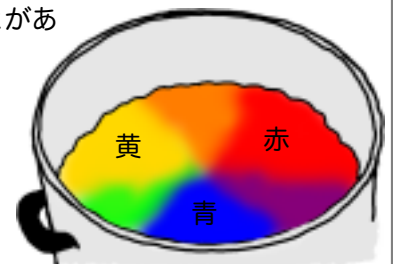
⑤ ぬらした羊毛を洗濯機で脱水します。(すすぎはしません)



⑥ 手でぎゅっと押さえて5cmの厚さになるくらいの量、羊毛を分けてなべにしきます。



⑦ 色がだいたい別れる位置に、3色の染液を羊毛にかけていきますが、一色ずつ、少量かけては、上からポリ袋に手を入れてぎゅっと押さえ、色を毛に含ませるようにします。染液が多すぎると色が混ざります。

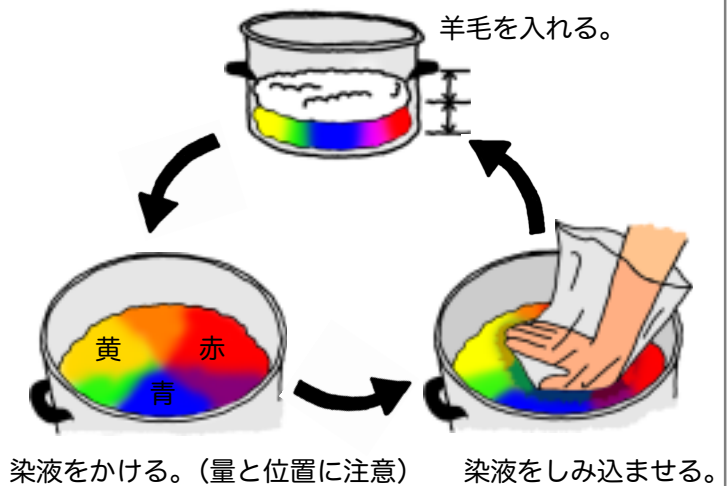


⑧ ポリ袋に手を入れて手のひらで各色を白い毛が見えなくなるまで強く押します。強く押して染液がやっとしみ出るくらいの量が適当です。混ぜたい色の境目を適度に押して色を混ぜます。ポイント・・・この時点で、色の混ざり具合を調節して好みの色を作ってしまうのがコツ。また、色が濃すぎと思ったら、そこに、お湯をかけて薄めると、淡い色合いに仕上がります。

かきまぜ厳禁



⑨ 2層目の羊毛を敷いて⑥～⑧を繰り返します。2層目の色は、下の層の色と同じ位置に染液をかけるようにして下さい。



⑩ 蓋を閉めて・・・



⑪ 染液が透明になるまで弱火で加熱します。加熱時間はなべや羊毛の量にもよりますが、だいたい30分くらい。火が強すぎると色が混じりすぎたり、底の方が焦げたりしますので注意。



染まり上がったら、羊毛を急に冷やさないで下さい。フェルト化することがあります。



⑫ お湯ですすぎをします。

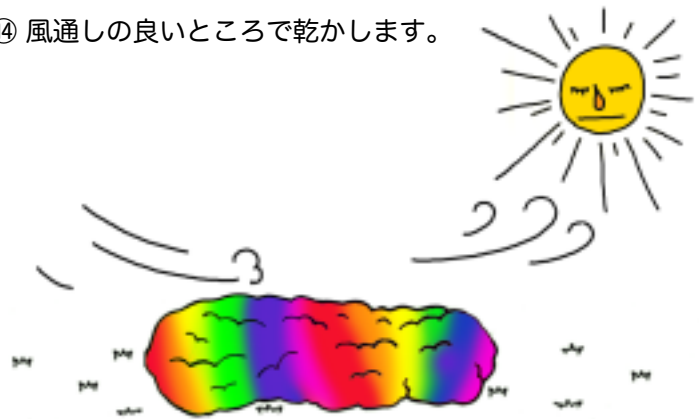
急冷厳禁



⑬ 充分脱水する。



⑭ 風通しの良いところで乾かします。



うまくいくコツ

- ◎ひとつの層に羊毛を入れすぎないようにする。(なべの深さ、羊毛の量によって重ねる回数を工夫して下さい)
- ◎上の層に染液を注ぐときは、下の層の色の位置に注意。だいたい同じ色の上に同じ色の染液を注ぎましょう。
- ◎染液の量があまり多いと加熱中に色が混じり合ってしまう。
- ◎火加減は強すぎないように注意。



注意

- ・染料の蓋はしっかりと閉め、お子様の手の届かないところに保管して下さい。
- ・染料を扱うときはなるべくマスク、手袋を着用しましょう。
- ・使ったなべ、食器は染色専用に使いましょう。
- ・染料は湿気の少ない場所へ保管して下さい。